

講義名	経済学入門		
科目区分	学部専門基礎 選択必修		
担当教員	丸山 亜希子		
開講期・曜日・時限	後期 火曜日 3時限	授業形態	
履修開始年次	1年生	単位数	2
		備考	

主題と概要

資金や物価(インフレやデフレ)の問題、あるいは為替レートの話など、日々の新聞やニュースで経済問題が論じられない日はありません。このような経済問題を理解する道具としての経済学の基礎を学びます。
 具体的には、現在の経済理論における大きな柱であるミクロ経済学とマクロ経済学を取り上げて、その基本部分を講義します。ミクロ経済学では、われわれの経済活動を支えている市場の役割と限界を勉強します。またマクロ経済学では、経済活動の規模を測る指標であるGDPなどに触れます。経済理論は抽象的で、一見すると難しいと感じるでしょうが、できるかぎり現実の具体的事例に触れながら説明します。

到達目標

新聞やニュースで取り上げられている事象に対して、経済学の考え方をを用いると、簡単な予測が立てられるようになります(例えば、政府が行う政策が人々の行動にどのような影響を与えるか、など)。この授業ではこのための基礎知識の習得を目指します。

提出課題

毎回、課題を課しますので提出して下さい。また、これとは別に、最終課題を提出してもらう場合があります。詳細は講義中にアナウンスします。

課題(レポートや小テスト等)に対するフィードバック

次の授業回で解答・解説を行う予定です。

評価の基準

課題 100点
 第1回の授業で詳細をアナウンスします。
 毎回の授業で提示される課題の未提出が5回以上となった場合、成績評価は「放棄」となります。

履修にあたっての注意・助言他

締切り厳守です。期限後の提出は未提出扱いとします。

教科書	.マンキュー入門経済学(第3版). N.グレゴリー マンキュー 東洋経済新報社 3520 978-4492315217

プリント資料及び参考文献

Ryuka Portalからレジюмеや資料を配布します。
 参考文献 (興味がある人は読んでみて下さい。)
 安藤 至大『ミクロ経済学の第一歩(有斐閣ストゥディア)』有斐閣 2200円

授業計画

経済学の基礎知識
 第1回 経済学の十大原理(教科書1章)
 第2回 経済学者らしく考える(2章)

ミクロ経済学の基礎知識
 第3回 市場における需要と供給の作用(4章)(1)~完全競争市場とは
 第4回 市場における需要と供給の作用(4章)(2)~需要
 第5回 市場における需要と供給の作用(4章)(3)~供給
 第6回 市場における需要と供給の作用(4章)(4)~均衡
 第7回 需要、供給、および政府の政策(5章)(1)~価格規制
 第8回 需要、供給、および政府の政策(5章)(2)~税金
 第9回 消費者、生産者、市場の効率性(6章)
 第10回 市場の失敗(7章)
 第11回 外部性(7章)

マクロ経済学の基礎知識
 第12回 国民所得の測定(8章)(1)-GDPとは
 第13回 国民所得の測定(8章)(2)-名目GDPと実質GDPを計算してみよう
 第14回 国民所得の測定(8章)(3)-GDPデフレーター
 第15回 生計費の測定(9章)

皆さんの理解度によって、授業内容が前後する場合があります。

授業形態(アクティブ・ラーニング)

ア:PBL(課題解決型学習)
イ:反転授業(知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態)
ウ:ディスカッション、ディベート
エ:グループワーク
オ:プレゼンテーション
カ:実習、フィールドワーク

準備学修(予習・復習等)の具体的な内容及びそれに必要な時間

予習・・・毎回教科書の該当範囲(上記「授業計画」を参照のこと)を読んで、内容を理解する必要があります。(5時間/回)
 復習・・・毎回配布するレジюмеを基に復習する。(5時間/回)

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

実務経験の有無及び活用

備考